

## 競 技 注 意 事 項

### 1. 規則について

本大会は2016年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会の申し合わせ事項による。

### 2. 練習について

競技の練習は補助競技場及び室内練習場で行うこと。

### 3. 招集について (招集場所は各々競技開始場所とする。)

- ① **第1コールは、不参加および棄権がある場合のみ**、所属団体別に代表者が各種目の競技開始1時間前までに情報処理室(ゴール側砂場前)へ届け出ること。
- ② 第2コール(最終コール)の時刻には選手本人は競技開始場所に待機し、ナンバーカードを見せ確認を受ける。コールに遅れた者は棄権とみなす。
- ③ 代理人による招集は認めない。ただし、同時刻に2種目以上の競技に出場するものはあらかじめ、そのことを本部受付に申し出ること。この場合、早く開始される競技の招集は決められた時間に行うこと。

競技種目	招集時刻
トラック競技	10分前
フィールド競技	30分前

### 4. ナンバーカードについて

出場選手は、ナンバーカードを胸背部につける。

なお走幅跳・走高跳・棒高跳は胸背部のいずれか一方だけでもよい。

腰ナンバーカードは5000mW・800mと小学生100m・小学生800mのみ招集時にスタート場所で受け取り右腰横につける。

### 5. 競技について

- ①トラック競技は全て写真判定(全自動電気計時装置)を使用する。
- ②スターターの合図は「On Your Marks」「Set」とする。  
ただし、小学生100m・800mは、日本語(「位置について」「用意」)で行う。  
不正出発については、2回目に不正出発した選手は失格となる。
- ③800mについてはグループスタートで行う。
- ④投てき競技は3回試技後、記録上位者8名により残り3回を行う。
- ⑤走幅跳は2ピットで3回試技のみ行う。

### 6. 使用器具について

競技場備え付けのものを使用する。但しポール・やりについては規定のものであれば使用してもよいが、競技開始前に現場で検定を行うので申し出ること。

### 7. その他

- ①スパイクのピンの長さは、9mm以下、フィールドの走高跳・棒高跳・やり投げのみ12mm以下とする。
- ②事故については応急処置のみ行い、以後は各参加校の責任において処置すること。
- ③競技進行をスムーズに行うため、トラック競技における選手紹介のアナウンスは行わない。  
また、スタート準備においても前組がスタート後、速やかに行うこと。
- ④競技結果については熊本陸協ホームページに掲載する。

URL <http://www.kumariku.org>

- ⑤競技場・駐車場の開門時間は7:30からとする。また、競技場周りは駐車禁止とし、駐車は投てき場横調整池を使用すること。(弁当のヒライ側、墓地横から出入りすること)